

## 指導事例（Q & A）

Q：歯みがきをととても嫌がります。どうしたらいいですか？

→ 一見、「健康の保持」の課題と考えがちですが・・・



A：歯みがきを嫌がる子どもの背景にあるものを考えてみよう！！

歯ブラシが痛いのかも？ 感触が苦手なのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柔らかい歯ブラシを試してみる。</li> <li>・ 不快に感じないように道具（口腔ケアスポンジや柔らかい歯ブラシ等）を選択し、触れ方や歯磨きの方法を工夫する。</li> </ul>
早く遊びたいのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しが持てるように、遊ぶまでの順番をカードで示す。</li> <li>・ 歯磨きの時間をタイムタイマー等でわかりやすくする。</li> </ul>
歯みがきの意味がわからないのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解しやすいように視覚的にイラストなどを使って歯みがきの必要性を伝える。</li> </ul>

Q：授業中、席を離れてしまい困っています。どうしたらいいですか？

→ 一見、「心理的な安定」の課題と考えがちですが・・・



A：授業中、離席が多い子どもの背景には？

何をすればいいのかわからないのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しを持てるようにスケジュールや活動内容がわかる教材を提示する。</li> </ul>
廊下で楽しそうな声、何をしているか気になるのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもと一緒に廊下の様子を確認し、何をしているのかを子どもに説明して教室に戻るよう促す。</li> <li>・ 余計な刺激を精選した環境を作る。</li> </ul>
座り続けているのがしんどいのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の途中、クラスみんなで立って簡単な体操をする等授業内容を工夫する。</li> <li>・ 教材の工夫や座学以外の活動等を取り入れる。</li> </ul>

Q：集団になかなか入れません。どうしたらいいですか？

→ 一見、「人間関係の形成」の課題と考えがちですが・・・



A：集団活動になると不安定になる子どもの背景には？

人が多すぎるのかも？ にぎやか過ぎる環境が苦手なのかも？	・小集団でグループ編成をする。 ・参加の仕方を本人に提案・交渉し、自己決定できるようにする。(まずは離れて様子を見てから活動に参加する等)
見通しを持っていなくて不安なのかも？	・スケジュールや順番表で見通しを持ちやすくする。
グループに気を遣っているのかも？	・個人を認め合う雰囲気作りをする。

Q：体育館に入りたがらず、入ろうと促すと泣き叫びます。どうしたらいいですか？

→ 一見、「環境の把握」の課題と考えがちですが・・・



A：体育館に入ると大きな声でパニック状態になる子どもの背景には？

体育館の中の音が嫌なのかな？	・マイクが響く音が嫌な時は、耳栓かイヤーマフを使う。窓を開けて反響音を減らす。
体育の授業と思っていたのかな？	・体育館の使用例を伝える。見通しを持てるように予定を伝えておく。
舞台が気になるのかな？	・緞帳を下げておく。明るい時に一緒に探検する。

Q：授業中、椅子に座っていると姿勢が崩れてきます。どうしたらいいですか？

→ 一見、「身体の動き」が課題だと考えがちですが・・・



注1：カットアウトテーブル

A：授業中姿勢がくずれてくる子どもの背景には？

座っているのがしんどいのかな？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を支える力が弱く、座位バランスが保てないのかもしれないので、カットアウトテーブル（※注1）等を使用して腕で支えて安定した姿勢がとれるようにする。</li> <li>・椅子と机の高さが身体に合っているか確認する。</li> </ul>
字が読みにくいのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視力検査を行い、眼鏡が必要な時は使用する。</li> </ul>
椅子が硬いのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッション等を使用する。</li> </ul>

Q：いつも大きな声で話します。どうしたらいいですか？

→ 一見、「コミュニケーション」が課題だと考えがちですが・・・



A：状況に応じた声の大きさを話するのが難しい子どもの背景には？

みんなに自分の声が聞こえているか不安なのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声がみんなに届いているか確認をする。</li> <li>・“声のものさし”等の声の大きさを視覚的に示す。</li> </ul>
反響する声がおもしろいのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院や図書館等では、静かにしなくてはならない理由を考える。</li> <li>・自分自身の姿を客観的に捉えられるような取組をしたり、周りの状況をわかりやすく伝えたりすることで、場に応じた適切な声の大きさを“声のものさし”等で理解できるようにする。</li> </ul>
小さい声が出しにくいのかも？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸の調整を練習する。</li> </ul>

以上のように、一見、〇〇（区分）に課題があると思っても、その原因は様々で複数の区分が絡み合っている場合もあります。表面に見えている課題の背景に目を向け、様々な視点や視座、視野の教師達で話し合い、より深く子どもを理解することが重要です。